

オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2005年5月10日

2005年5月8日現在の概況：

5月8日の終わる週では、州の全ての気象観測所にて降雨を記録した。気温は平年を多少上回り推移し、NC地区の各観測所での平均気温は4~10度F平年を上回った。Willamette盆地に於いても同様気温は平年より高く、最高気温は71~75度Fであった。降水量はMoro観測所にて0.40インチ、Pendleton観測所では0.65インチを記録した。1週間の州平均農作業稼働日数は4.1日（前週：5.6日）であった。Wasco郡では0.24インチの降雨があり、土壌水分が改善したが、小麦の草丈は12インチ~25インチと圃場により差が有り、更に水分を必要とした。同郡の冬小麦の3%が出穂した。Sherman郡では5月6日に0.63インチの降雨を記録した。同郡の5月の降雨量合計は平年0.76インチであるが、今年は既に1.0インチに達した。出穂直前の冬小麦にとり極めて有効であった。温暖・湿潤な環境は、小麦の銹病に適した危険な条件である。春小麦の播種は全州の98%の圃場にて完了した。作柄評価は冬小麦、春小麦共に前週より多少改善した。

土壌水分：5月8日現在

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	4	12	78	6
Subsoil (%)	11	24	65	0

小麦生育状況：5月8日現在

	This Week	Last Week	Last Year	5-Year Ave.
Spring wheat Planted (%)	98	93	97	96
Emerged (%)	82	73	84	77
Winter wheat Headed (%)	8	3	10	6

小麦の作柄状況：5月8日現在

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Winter Wheat This week (%)	1	7	34	51	7
Last week (%)	2	10	33	51	5
Spring Wheat This Week (%)	0	16	40	38	6
Last Week (%)	0	23	45	29	4

Source: Oregon Agricultural Statistics Services

この作柄・気象レポートに関してのご質問は下記にお願い致します。

小川正晃：<mailto:ogawa.max@omicnet.com>